

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス獅子舞			
○保護者評価実施期間	2025年12月3日		～	2025年12月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数)	32
○従業者評価実施期間	2025年12月8日		～	2025年12月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	15
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月5日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	月一回の保護者会【パドル】を開催	職員と保護者だけでなく、保護者同士の横のつながりを深めるために月一回開催している。保護者会で出た意見や疑問などは意見をまとめ、不定期に行う勉強会の議題のテーマにしている。	参加者が固定され、集まりが少ない月もあるため、周知の仕方や参加したいと感じてもらえる手立てを模索する必要がある。
2	保護者等に対する勉強会の実施	保護者会で保護者からの意見(福祉の制度や我が子の将来の不安や疑問等)を関係各所へ出向き、情報を集め勉強会用の資料作りに役立っている。資料作りは、利用者のこれからの進路や将来的な事をご家族でお話しするきっかけに使用していただくため、今後も作成する。	職員の学びの場にもなっている事から、今後も質問や疑問があれば、力を入れ、ご家族と一緒に考えて進んでいける取り組みを続けていく。
3	固定化しない集団活動 (マンネリ化防止)	毎日行っている集団活動の内容を固定化しないため、その日のメンバーや様子を見ながら考える事もある。季節のイベントや外出支援等、まず職員自身が行い楽しんでいかかを考え、メンバーみんなが楽しいと感じる活動を取り入れている。	固定の職員が考える現状がある。 全職員が考える事でより固定化しない活動や新たな発想を取り入れられる環境にしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部の研修会への参加や社内研修のあり方	毎月一回行う職員全体の評議会にて職員主催の研修会を行っているが、固定しがちな傾向がある。	外部による研修会がないのか等、今後の研修のあり方を模索してみる。
2	建物の構造上、室内や空間の確保が難しい	年数も立っており修繕する箇所もあるが、事業所が賃貸なため、リフォームが難しく限られたスペースを上手く使用しながら活動している。	安全面の確保のため、修繕は可能な限り行っていく。怪我防止クッションやコーナーガード等を使用したりと安全安心な空間作りを引き続き工夫する。
3	職員教育の場	社訓である【地域での自立】に対して、社員一人一人共通認識の下、日々の支援、療育を行っているが、業務における必要最低限の知識やスキルを身に付ける事や時代に合わせた職員教育を行う教育環境に対して、力不足な面を感じる。	教育の場では、世代に関わらず、その人個人の意見や考え方がある事を理解し、日頃から傾聴と対話の姿勢を大にし相互理解を深めながら信頼関係を築くことを意識していき、働きやすい環境づくりを意識していく。